

問 踏切内の歩道設置で安全確保を

答 道路整備と同時に整備



板倉 克典 議員 日本共産党弥富市議団

平成8年に県知事から出された「危険な踏切道の拡幅に係る指針」について、以下を問う。

問 指導されたという認識はあるか。

答〔土木課長〕 具体的な指導はない。

問 「自由通路整備によって近接する踏切を廃止する」という要求はJR側からあったか。

答 踏切の廃止要求はない。

問 指針と言う応援がありながら、踏切内に歩道を整備しなかったのはなぜか。

答 踏切前後の道路と合わせた整備計画でないと、通行の安全性が確保されず、関係機関の理解が得られない。

問 指針が出た後、JR気

開踏切前後の歩道用地確保にどう動いたか。

答 動いた記録はない。



▲JR弥富駅東側の踏切（気開）

問 指針を上手に解釈し協議すれば、踏切内の歩道設置が出来るかと考えるが。

答 踏切道だけの歩道設置で安全確保されるものでない。

問 踏切の安全策は、自由通路ではなく踏切の歩道整備を要望するが総括を。

答〔市長〕 交通結節点を整

備し、引き続き弥富駅周辺まちづくりを面的に進める。

問	尾張大橋の不安解消は
答	可能な対策を講じていく

問 台風接近時に土のうを積むのはどのような団体か。

答〔総務部長〕 愛知県建設業協会。

問 災害支援協定は、現在、結ばれているか。

答 現在も継続中。

問 高潮特別警報が発表された時点で、大型土のう設置の実施を決定。

問 尾張大橋愛知県側の越波を想定した、土のうを積み訓練を固めているのか。

答 弥富市側の国道1号区間を想定したレイアウトを仮設再現し、大型土のう設置訓練を実施した。

問 何台の重機（バックホウ）で土のうを積み予定か。

答 2台。

問 大地震に伴う津波に対応しているか。

答 想定していない。

問 令和3年度の河床調査の結果は。

答 3月以降の回答となる。



▲尾張大橋北側（小島町）から見た木曾川河床